



### 「和爾の里を巡る」

実施日 6月2日(土) 曇り蒸し暑い  
AM10時JR櫛本駅集合 参加者20名、  
(当行事は3月31日例会として企画、雨天で中止となったため、歴史文化クラブの協力により今回実施したものです)

(担当世話役：川井秀夫、水本遼真)

10:20頃「歌塚、柿本寺跡、和爾下神社」歌聖「柿本人麻呂歌塚」に到着、周りの木陰で、川井顧問による「和爾豪族と人麻呂、その時代背景について」の講義を聞き、同行の前帝塚山大学教授 岩本先生から専門的補足説明も聞かせていただいた。



11時過ぎに次の「赤土山古墳」に向かう、発掘模型展示物、説明板を見比べ付近を散策し昼食場所の白川ダムへと出発。



下りて高瀬川を南に渡り川沿いを上流へ向かい、途中で名阪国道沿いに出て、黙々と歩くこと約30分、12時過ぎに到着する。



湖畔やダムを渡る風に当たりながら、東屋で昼食。全員で記念写真を撮る。

13時出発、暑い中北に向かって農免道を歩く、途中から西に向かって村道に入り畑の中の「六地蔵」を見学。



14時前「和爾坐赤坂比古神社」に到着、早々に神殿で祈りをささげ、集落の下り坂道を南に下り、14時過ぎ「櫛本高塚古墳公園」に着き、ここで川井顧問と古墳の研究者の岩本先生から配布資料による詳しい説明を聞く。



この公園は南の「東大寺山古墳群」(古くこの辺りは東大寺の寺領)と尾根続きになっていますが、今回はそちらの方は見学しなかった。

15時前に現地公園にて解散。本日の歩行距離は、推定12kmでした。(文責 水本)